

# 麻生すこやか通信

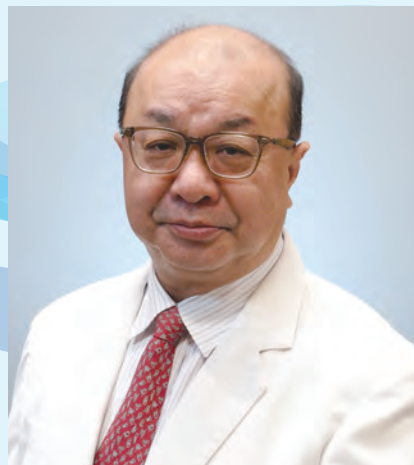
## 40th Anniversary 開院40周年 次の10年に向けて

札幌麻生脳神経外科病院は1985年4月15日に麻生で開院し、本年度で開院40周年を迎えることとなりました。2012年に現在の北22条に移転し、急性期治療からリハビリテーションに至るまで、幅広い医療を提供する専門病院として診療を続けて参りました。「麻生脳神経外科病院」という名称は、地域をはじめ全国にも広く浸透したことから現在もその名のままとし、患者さまに信頼される医療を提供し続けております。

当院では1.5テスラのMRIを3台、3テスラのMRIを1台、SPECTを2台、CTを2台、そして最新のDSAも備えるなど、地域の画像センターとしての機能も担っております。放射線科専門医も常勤し、高度な画像診断体制を整備しています。

手術部門では、3つの手術室すべてにZeiss社製の最新顕微鏡を導入し、術中のICG蛍光撮影を可能とし、内視鏡、外視鏡も駆使しながら、手術の種類に応じて運動神経のモニタリング(MEP)も行うなど、安全かつ精密な手術を日々実践しています。医師の多くが北大脳神経外科教室の出身であり、同教室とは密接な関係を保ち、血管内手術、脳腫瘍、脊椎脊髄疾患など専門性の高い分野においても必要に応じて、北大医局とも連携診療を行っております。また北海道大学からの研修医受け入れ施設としても認定され、後進の育成にも務めております。

現在、当院の診療を支える中核スタッフには、齋藤理事長をはじめ脳卒中センター長の中村先



院長 飛驒 一利 Kazutosi Hida

日本脳神経外科学会専門医・指導医  
脊髄外科指導医、脊椎脊髄外科専門医  
日本脊髄外科学会前理事長、日本脊髄障害医学会理事  
北海道大学脳神経外科同門会会長

生、脊椎脊髄センター長の矢野先生、脳腫瘍センター長の茂木先生、機能外科センター長の笹森先生、脳血管内治療センター長の下田先生、リハビリセンター長の安彦先生など経験豊富な医師が揃い、40台半ばから50歳後半の力ある世代が中心となって活躍しています。2024年の年間手術件数815件という手術実績は北大脳神経外科の関連施設でも最多となりました。多くの患者さまにご来院いただいていることに、心より感謝申し上げます。

私自身は昨年の11月に第59回の日本脊髄障害医学会の学会長を無事に務め終え、今年3月には16年間携わった「脊髄ジャーナル」の編集委員も後任に引き継ぎ、現在は一区切りついたところですが、今後も札幌市脳神経外科医会や北大の同門会の活動にも力を注ぎつつ、より良い手術と診療を目指し、日々の研鑽を怠らず取り組んでまいります。そして何より手術が必要な患者さまに向き合う姿勢は変えることなく、自身の健康にも留意しながら地域医療に尽力していく所存です。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 血管内治療ってどんな治療??

みなさん、こんにちは！脳血管内治療センター長の下田祐介です。入院中、外来での待合中、ご家族の付き添いで来院された際など様々な状況でこのコラムに目を通されていることと思います。このコラムでは、みなさんやご家族さんに提案がなされるかもしれない血管内治療について解説致します。

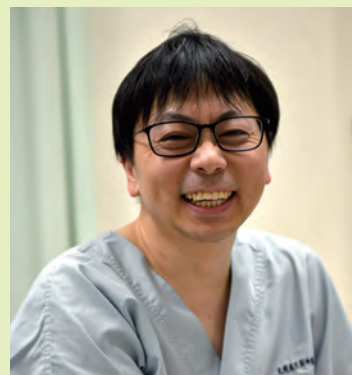
## 血管内治療

カテーテルという1～1.5mの長さの細い管状の医療機器を、手足の血管から病変まで誘導して行う手術のことです。太さ約3mmの軸となるカテーテル内に複数のより細く長いデバイスを挿入することで様々な状況に対応します。カテーテルを挿入したところに約3mmの痕跡が残るのみで、抜糸も不要の体に優しい低侵襲手術です。

医療技術の発展に伴い治療できる病気も増えてきています。当院で実施している血管内治療は、脳動脈瘤に対する治療(コイル塞栓術・フローダイバーター留置など)、頸動脈狭窄に対するステント留置術(CAS)、緊急疾患の代表である主幹動脈閉塞に対する機械的血栓回収、脳腫瘍の摘出術前に術中出血を減らし安全性を高めるために実施する腫瘍塞栓術、脊髄血管奇形に対する塞栓術など幅広い疾患に対応しています。

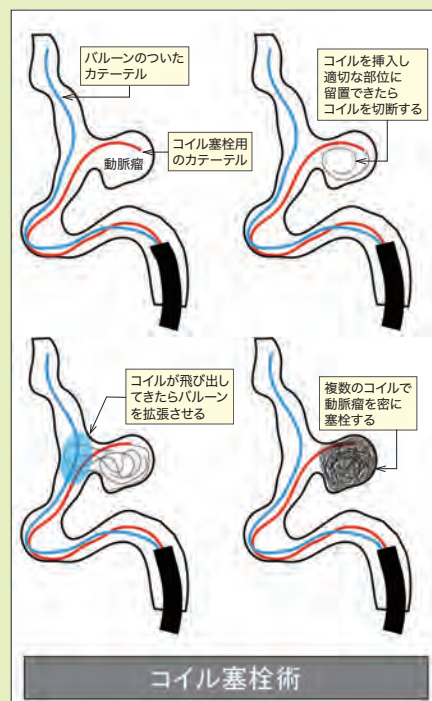
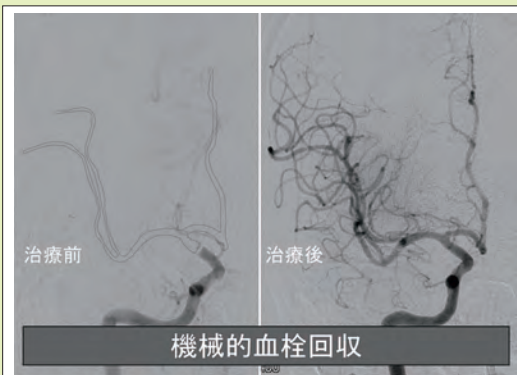
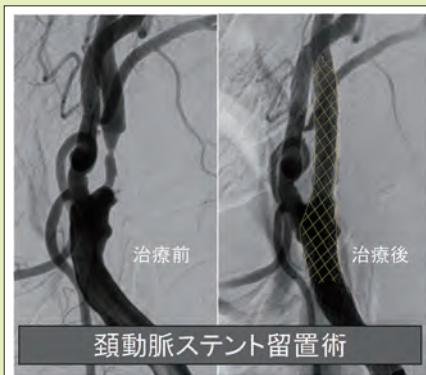
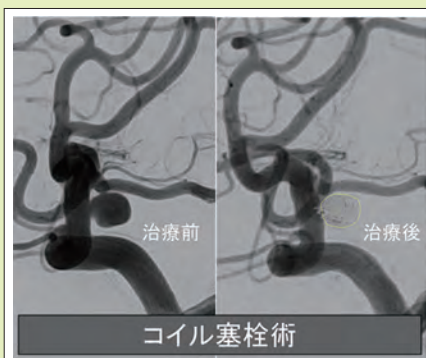
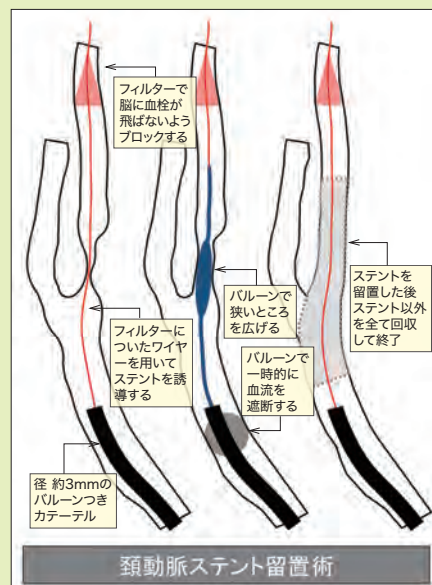
血管内治療が提案できるかは、カテーテルを用いた血管造影検査で精査をしてみないとお答えできないこともあります。定期手術の場合、術前の準備として1～2週間前から血液をサラサラにする薬(抗血小板薬)を内服してもらうことが一般的で、術後も内服継続が必要となるときもあります。

動脈瘤の治療には全身麻酔が必要ですが、疾患によっては局所麻酔で実施することもあります。詳しくは外来を受診した際にご相談ください！



脳血管内治療センター長  
**下田 祐介 医師**

日本脳神経外科学会専門医・指導医  
日本脳卒中学会認定専門医・指導医  
日本脳神経血管内治療学会専門医・指導医



2025年9月1日から

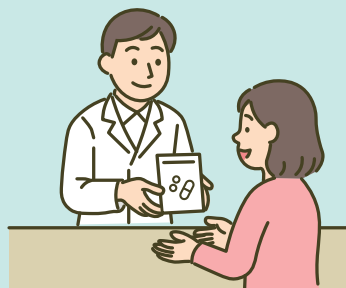
# お薬を出すしくみが変わります

当院ではこれまで診察後に病院内でお薬をお渡ししていましたが、2025年9月1日より診察後に院外処方箋を発行し、お薬を保険調剤薬局で受けとりしていただくことになりました。お薬はいままで使用していたものと同じ内容ですので、ご心配はいりません。



## 院外処方箋が発行された患者様は

- 1 かかりつけの保険調剤薬局を自由に選ぶことができます。  
※自立支援医療(精神通院)を適応されている患者様は会計窓口にご相談ください。
- 2 保険調剤薬局にてお薬の飲み方やお薬の飲み合わせについての説明を受けられます。
- 3 飲み忘れを防止するため、一包化調剤をしていただけます。(調剤に多少のお時間がかかるかもしれませんので、保険調剤薬局の薬剤師さんにご相談ください)
- 4 院外処方箋発行後、4日以内であれば患者様の都合の良いときに処方箋を保険調剤薬局へ持っていくと、お薬を受け取ることができます。
- 5 ジェネリック医薬品(後発医薬品)がある医薬品は保険調剤薬局さんでお薬の選択をすることができます。



このしくみは「医薬分業」といわれるもので、お薬を正しく服用するために国が推奨している取り組みです。患者様・ご家族様にご迷惑をおかけすることもございますが、どうぞご協力をお願いいたします。



## 2025年9月1日以降、院内所属の薬剤師は入院患者様への薬物療法に重点を置き、活動します。

- 1 入院予定の患者様に対して不安なく入院できるよう、事前に現在使用しているお薬やサプリメントなどの副作用・飲み合わせなどの確認を行います。また、アレルギー歴の確認をさせていただきます。
- 2 入院患者様へのベッドサイドでの服薬指導や退院時での服薬指導を患者様(ご家族様)に行い、在宅での服薬支援をさせていただきます。

医師・看護師などコメディカルと一丸となり、患者様へより安心・安全に薬物療法を提供できるようサポートいたします。

# 2024年 手術実績・診療実績

## 年間手術件数 815件 (2024年)

|       |      |
|-------|------|
| 脳腫瘍   | 62件  |
| 脳血管障害 | 127件 |
| 外傷    | 92件  |
| 水頭症   | 29件  |
| 脊椎・脊髄 | 401件 |
| 機能的手術 | 25件  |
| 血管内手術 | 55件  |
| その他   | 24件  |

### 脳血管障害

|          |    |
|----------|----|
| 破裂脳動脈瘤   | 15 |
| 未破裂脳動脈瘤  | 49 |
| 頸動脈内膜剥離術 | 26 |
| その他      | 37 |

### 脊椎・脊髄

|         |     |
|---------|-----|
| 腫瘍      | 50  |
| 変形性脊椎症  | 266 |
| 椎間板ヘルニア | 21  |
| 末梢神経手術  | 16  |
| その他     | 48  |

### 血管内手術

|          |    |
|----------|----|
| 動脈瘤塞栓術   | 12 |
| 動静脈奇形    | 2  |
| 閉塞性脳血管障害 | 21 |
| 頸動脈ステント  | 11 |
| その他      | 9  |

### 外来患者数

|       |         |
|-------|---------|
| 新患者数  | 6,153名  |
| 再来患者数 | 34,796名 |

### 入院患者数

|        |         |
|--------|---------|
| 入院患者数  | 2,133名  |
| 入院延患者数 | 45,537名 |

### 救急患者数

|        |        |
|--------|--------|
| 救急車搬入数 | 1,300件 |
| その他    | 525件   |

外来患者数は、前年の38,069人から40,949人と2,880人増、入院延患者数は、前年の44,518人から45,537人と1,019人増、救急患者数は、前年の1,819件から1,825件と6件増、手術件数は、前年の697件から815件と118件増、となり、いずれも前年を上回る数字となりました。手術件数においては、過去最高件数だった前年を更に上回る数字となり、過去最高件数を更新する結果となりました。

当院のロゴマークが  
新しくなりました



患者さまが病氣から回復される様子を表現したロゴデザインです。

病院のイニシャル「A」と、人のシルエットを組み合わせることで、「健康」や「安心感」を伝えます。カラーは、心を落ち着かせる効果のある緑色をベースにし、頭部には「清潔感」や「信頼感」を象徴する水色を使用しました。さらに、グラデーションを加えることで奥行きを生み出し、視覚的な印象をより強くする工夫を施しています。

## 診療受付時間

月～金 午前 8:45～午後 4:00

土 午前 8:45～午前 11:00

※お昼休みはございません

休診：日曜日・祝日・年末年始 (12/30～1/3)



医療法人

札幌麻生脳神経外科病院

SAPPORO AZABU NEUROSURGICAL HOSPITAL

〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目1-40

TEL 011-731-2321 (代表) FAX 011-731-0559

ホームページ <http://www.azabunougeka.or.jp>

### 交通アクセス

- 地下鉄：南北線 北24条駅下車  
(2番・3番出口から徒歩約7分)
- 中央バス：「北21東1」下車、徒歩約2分
- 中央バス：「北24東1」下車、徒歩約2分



※お間違いのないようご注意ください

- 往路と復路とで停留所の異なる路線があります。  
花川南団地線 14・花畔団地線 16・石狩線・石狩線(トーマン団地行)
- バス停「北24条東1丁目」は旧石狩街道・宮の森北24条通の2カ所あります。